

都市再生整備計画

やまなかおんせん だい かいへんこう
山中温泉地区(第3回変更)

いしかわ かがし
石川県 加賀市

令和4年2月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	■
まちなかウォークアブル推進事業	□

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	石川県	市町村名	加賀市	地区名	山中温泉地区	面積	28 ha
計画期間	令和 1 年度 ~ 令和 5 年度	交付期間	令和 1 年度 ~ 令和 5 年度				

目標

- 【大目標】 温泉情緒と伝統文化にふれる周遊型観光まちづくりの推進
 目標1: 温泉・歴史・伝統・文化と鶴仙溪の自然を活かした温泉街の魅力づくり
 目標2: 菊の湯を核としたまちなか周遊拠点の機能強化による賑わいづくり
 目標3: ゆげ街道の賑わい延伸とまち歩きが楽しめる散策ネットワークづくり

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含み、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
 本市では、北陸新幹線金沢・敦賀間の整備や国道8号の4車線化拡幅事業など交通インフラ整備が進められている。一方で人口減少や少子高齢化が進行する中、都市インフラの老朽化が大きな課題となりつつある。本市は、数度の市町村合併により、市街地が分散した多極分散型の都市構造となっている。各市街地において人口減少が進む中、加賀温泉駅を中心とした作見地域では、加賀市医療センターの開院や新幹線駅の整備が進むなど、人が集まる地域として市街化が進んでいることから、本市の中心に位置するこの地域を拠点とし、各市街地をつなぐ利便性の高い公共交通の充実を図るものとする。また、その他の市街地では、既存の生活利便施設や公共施設の維持と新たな施設の誘導を図り、生活利便性が高く、住みやすいまちの形成を進め、居住を誘導するものとする。

まちづくりの経緯及び現況

山中温泉地区は、1300年に及ぶ歴史を有し、山中漆器や山中節などの伝統文化のほか、鶴仙溪の美しい自然にふれあえる温泉街である。温泉街は、大聖寺川の溪谷に沿って温泉旅館が建ち並び、総湯「菊の湯」を中心に商店街と住宅地が形成されている。地場産業の漆器製造とともに観光地として発展してきた本地区であるが、消費者ニーズや旅行形態の変化、長引く景気低迷などの中において観光客数は、平成3年の850千人をピークに平成19年には441千人(▲409千人、▲48%)にまで減少し、旅館数は全盛期の半分の19館であり、地区内の各商店街においても空店舗が目立つようになっている。
 平成17年度から平成21年度のまちづくり交付金事業(山中南地区)では、広場、散策路や案内板の整備などに取り組み、温泉街の魅力向上が図られている。また、石川県の街路事業により「山中温泉ゆげ街道」の整備が進められ、沿線にある湯の出町と南町の商店街の賑わいづくりに大きく寄与している。
 山中温泉の観光入込み客数は、H27.3の北陸新幹線金沢開業により、H27年度は500千人に増加したが、近年は、概ね450千人余りで推移している。そうした中で、台湾・シンガポール等との積極的な海外交流によるインバウンド観光の推進により、外国人観光客数はH23年度の5千人からH29年度に26千人となり、毎年着実に増加している。さらに、平成34年度末の北陸新幹線敦賀延伸開業に向けて、山中温泉の魅力向上による更なる賑わい創出が必要である。
 このため、地域住民のほか、旅館事業者や地元観光協会が主体となったまちづくりを推進し、総湯「菊の湯」周辺のまちなか周遊拠点と散策周遊ネットワークの強化・充実により、温泉街と鶴仙溪が一体となった周遊型観光まちづくりが求められている。

課題

- ・山中漆器や山中節などの伝統文化と鶴仙溪の優れた自然を有しているが、温泉街のまち歩きが楽しめる周遊ルートが充実していないため、地域資源が活かされていない。
- ・温泉街の中心である菊の湯周辺において、まちなか周遊拠点としての機能が不足している。
- ・名勝「鶴仙溪」に架かるこおろぎ橋付近から菊の湯までのゆげ街道の散策者は増加傾向にあるが、本町通りや湯の本町通りなどの周辺商店街まで賑わいが広がっていない。

将来ビジョン(中長期)

【総合計画】

加賀市観光戦略プランでは、市内の山代・山中・片山津の3温泉地の魅力を高め賑わいを創出するため、個性を生かした温泉街の魅力づくりを進めるとしており、その中で、山中温泉は温泉街の賑わい創出のため、鶴仙溪、ゆげ街道の散策や山中節を始めとする伝統文化が楽しめる温泉街の魅力づくりを目指している。

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

漆器産業と住居が共存した市街地や、山間の自然風景と調和した温泉街の形成に加え、鶴仙溪、総湯菊の湯、山中座などの地域資源を活かした、回遊性のある情緒あふれる温泉地を目指すため、温泉街中心部のまちなか周遊拠点としての機能の強化を図る。また、温泉街の周遊ルートを確認するため、中心部と地域資源を結ぶ散策ネットワークの充実を図る。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

鶴仙溪等の優れた地域資源を活かすため、温泉街と地域資源を結ぶ歩行者ネットワークとなる散策路を整備する。
 山中温泉地区の誘導施設である総湯菊の湯は、地元住民と観光客の交流の場となる拠点施設であることから、その隣接地に温泉街を散策する観光客の散策拠点となる広場を整備し、散策拠点としての機能を強化することで、観光客の利便性向上を図るとともに、地域住民がまちづくり活動やイベントを行うことで住民と観光客が交流し、一体となった賑わいを創出する。
 ゆげ街道に繋がる通りの散策路整備に加え、温泉街の散策ルート上の各所で回遊スポットの情報を記載した案内看板や気軽に立ち寄れるポケットパーク等を整備し、まち歩きを促進させる。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

都市再生土地区画整理事業や都市・地域交通戦略事業の特例を受ける場合は当該事業の概要、位置づけを記載。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
山中温泉観光入込客数	人／年	山中温泉の宿泊施設の年間入込客数	温泉・歴史・伝統・文化と鶴仙溪の自然を活かした温泉街の魅力づくり、ゆげ街道の賑わい延伸とまち歩きが楽しめる散策ネットワークづくり	464,379人／年	H29	510,000人／年	R5
商店街店舗減少率(直近5ヶ年)	%／5年	山中温泉の直近5ヶ年の商店街店舗減少率	温泉・歴史・伝統・文化と鶴仙溪の自然を活かした温泉街の魅力づくり、菊の湯を核としたまちなか周遊拠点の機能強化による賑わいづくり、ゆげ街道の賑わい延伸とまち歩きが楽しめる散策ネットワークづくり	4%／5年	H29	2%／5年	R5
湯の本町通り通行者数	人／10h	湯の本町通りの平日10時間(9:00～19:00)の歩行者数	温泉・歴史・伝統・文化と鶴仙溪の自然を活かした温泉街の魅力づくり、ゆげ街道の賑わい延伸とまち歩きが楽しめる散策ネットワークづくり	403人／10h	H30	600人／10h	R5

整備方針等

様式(1)-③

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1：温泉・歴史・伝統・文化と鶴仙溪の自然を活かした温泉街の魅力づくり ・山中漆器や山中節などの伝統文化と鶴仙溪の自然などの優れた地域資源を活かし、来訪者が地区を周遊できる歩行者ネットワークとなる散策路を整備する。</p>	<p>散策路整備 (基幹事業：高質空間形成施設)</p>
<p>整備方針2：菊の湯を核としたまちなか周遊拠点の機能強化による賑わいづくり ・温泉街の中心において、まちなか散策の拠点機能の強化・充実を図るため、菊の湯と一体的に活用できる広場を整備する。</p>	<p>菊の湯広場整備 (基幹事業：地域生活基盤施設)</p>
<p>整備方針3：ゆげ街道の賑わい延伸とまち歩きが楽しめる散策ネットワークづくり ・温泉街の周遊ルートを確立するため、商店街のまち歩きに対応した散策路とポケットパークを整備し、散策ルート上の山中座や芭蕉の館などの伝統文化施設や鶴仙溪を巡る情報案内サインとバリアフリーに対応したトイレを整備する。また、散策ルート上に新たな広場を整備する。</p>	<p>散策路整備 (基幹事業：高質空間形成施設) 情報案内サイン整備 (基幹事業：地域生活基盤施設) こおろぎ橋公衆トイレ整備 (基幹事業：高質空間形成施設) 旧よしのや依緑園別荘庭園整備 (基幹事業：地域生活基盤施設) (仮称)湯の本広場整備 (基幹事業：地域生活基盤施設) 大獅子展示施設整備 (提案事業：地域創造支援事業)</p>
<p>その他</p>	
<p>● 上位計画：加賀市都市計画マスタープラン(平成31年4月改定)</p> <p>【将来都市像】ひと・もの・地域がつながる 住んでいたい 訪れてみたい 輝きが集約されたまち</p> <p>【地域の将来都市像】「温泉や伝統産業を活かし豊かな自然と共存する 情緒あるコンパクトなまち」</p> <p>漆器産業と住居が共存した市街地と、山間の自然風景と調和した温泉街の形成に加え、鶴仙溪、総湯菊の湯、山中座などの地域資源を活かした、回遊性があり情緒と魅力が集約された地域を目指します。また、地域全体に広がる山間部の自然環境や農山村の景観を保全するとともに、山間部における防災を推進します。</p> <p>● 加賀市立地適正化計画について(平成31年4月)</p> <p>加賀市の「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を実現するために、「都市機能誘導区域」「居住誘導区域」「誘導施設」「具体的施策」等を定めています。</p> <p>山中地域は、人口流出の歯止め、定住人口の確保を図るため、温泉を中心とした情緒あるまちなみを保全しつつ、日常的な利便性を確保できる施設を誘導していく方向性としています。</p> <p>なお、本都市再生整備計画の事業区域は立地適正化計画の都市機能誘導区域及び居住誘導区域に含まれています。</p> <p>● 商店街通りのまちづくりについて</p> <p>・現在、温泉中心街である菊の湯周辺の賑わい創出のため、山中温泉の観光・商工・まちづくり・町内会など各種団体が組織する「菊の湯周辺整備計画検討委員会」において、広場機能の検討に取り組んでいる。また、菊の湯周辺の商店街において、沿線関係者で組織する「湯の本町景観形成推進協議会」及び「本町通りまちづくり協議会」を立ち上げて、まちづくりと街並み景観づくりの推進を目指し、地元が主体的に取り組んでいる。</p>	

やまなかおんせんちく いしかわけんかがし 山中温泉地区 (石川県加賀市)	面積 28 ha	区域 山中温泉 本町一丁目、本町二丁目、湯の本町、富士見町、栄町の全部 薬師町、白山町、東町一丁目、東町二丁目、湯の出町、河鹿町、南町、こおろぎ町の一部
--	----------	---

